

日本学術会議主催公開シンポジウム/第3回防災学術連携シンポジウム
熊本地震・一周年報告会（仮案）

主 催：内閣府 日本学術会議 防災減災・災害復興に関する学術連携委員会
防災学術連携体（防災に関わる 55 学会のネットワーク）
熊本県

日 時：平成 29 年 4 月 15 日（土） 13：00～18：00

場 所：熊本県庁内

開催趣旨：

平成 28 年 4 月 14 日、16 日に発生した熊本地震から 1 年目にあたる平成 29 年 4 月 15 日に、地震・災害・救援・復興等に関わる各学会の調査状況を地元の方々に伝えると共に、熊本県・市町村からも復旧・復興に関わる情報を発信し、関係者間で更なる情報共有をはかり、今後の防災減災・災害復興に役立てるために、一周年報告会を開催する。

日本学術会議 防災減災・災害復興に関する学術連携委員会は、防災学術連携体（防災減災・災害復興に関する 55 学会のネットワーク）と連携して、28 年 5 月 2 日に熊本地震・緊急報告会（17 学会発表）、7 月 16 日に熊本地震・三ヶ月報告会（23 学会発表）を開催してきた。その後、熊本県・大分県周辺では、熊本地震の余震、阿蘇山の噴火、雨による土砂災害の多発が懸念されており、各学会は調査や支援活動を継続し、多くの知見を蓄積しつつある。このたびは、12 の学会が全国から集まり、熊本地震に関する調査結果を発表する。

プログラム案

13:00 開会

司会：〇〇〇〇（日本学術会議，防災学術連携体）

〇〇〇〇（熊本県）

主催挨拶

日本学術会議会長 大西 隆（豊橋技術科学大学学長）

熊本県知事挨拶 蒲島郁夫（未定）

趣旨説明：日本学術会議 防災減災・災害復興に関する学術連携委員会委員長
防災学術連携体代表幹事

和田 章*（日本学術会議連携会員，東京工業大学名誉教授）

13:15 学会発表（発表枠は 12 学会，各 12 分＋グループ質疑 5 分）

① 熊本地震の観測と現象解明

〇〇学会，〇〇学会，〇〇学会

② 地震の被災状況と対策について

〇〇学会，〇〇学会，〇〇学会

③ 土砂災害・風水害と対策について

〇〇学会， 〇〇学会， 〇〇学会

15：18 休憩

15：33 発表

④ 情報提供・避難・救援・復旧・復興について

〇〇学会， 〇〇学会， 〇〇学会

16：14

Ⅱ 熊本県・市町村の発表（各12分，質疑はまとめて10分）

・〇〇〇〇

・〇〇〇〇

・〇〇〇〇

・〇〇〇〇

・〇〇〇〇

17：24

全体質疑

17：50

閉会の言葉

廣瀬典昭（防災学術連携体 代表幹事）

〇〇〇〇（熊本県）

18：00 閉会

（参考）

*今後，防災学術連携体に所属する55学会に，発表希望を募る予定です．発表枠は12学会までで，熊本地震に関わる調査結果を地元へ報告する学会を優先します．

*報告会の翌日4月16日（日）に，日本学術会議および防災学術連携体の関係者による熊本地方，阿蘇地方の復旧現場のバス視察を検討しています．

問い合わせ先：

防災学術連携体事務局長／日本学術会議会員 米田雅子

yoneda@psats.or.jp

03-5876-8461

防災学術連携体事務局 菅原健介（土木学会）sugawara@jsce.or.jp 03-3355-3443

小野口弘美

info@janet-dr.com